

## 斜面工学研究小委員会第4回委員会議事録

日時：平成30年6月20日（水）14:00～17:30

場所：土木学会 C会議室

出席者（敬称略，順不同）：岩佐、中野、上野、稲垣、伊藤、花本、原、櫻井、今井、橋口、大野、茂木、平岡、北爪、美馬、石田、片山、荒木、吉川、鈴木 計20名

### ■報告事項

#### 1. 前回議事録の確認

鈴木委員長より、第3回委員会議事録の報告がなされた。

#### 2. 大分県中津市耶馬溪土砂くずれ調査

鈴木委員長より、大分県中津市耶馬溪土砂くずれ調査の報告がなされた。

微動アレイ探査、UAV撮影、水質分析、物理試験等を実施した。現在成果を取りまとめている。

美馬幹事より、UAV撮影結果、微動アレイ探査結果の報告がなされた。

#### 3. その他

##### （1）大阪北部地震の報告

鈴木委員長より、大阪工業大学 藤本先生の現地調査結果の報告がなされた。

斜面、地盤関係の崩壊はあまり見られなかったとの報告があった。

### ■審議事項

#### 1. 「実験で学ぶ 土砂災害」の販売促進

鈴木委員長より、図書の販売促進について報告がなされた。

- ・売上部数は6/15時点で1624部であり、前回委員会（H30.4）より1冊増えた。
- ・目標としてあと1000部ほど販売したい。
- ・防災展等の行事の後に売れる傾向がある。
- ・防災関係者への販促で売れないか。

審議の結果、引き続き、催し物での広報、販促活動を続ける。

#### 2. H30重点研究課題（九州北部豪雨）

吉川副委員長より、H30年度重点研究課題の実施計画（案）について説明がなされた。

各委員より以下の意見があった。

- ・斜面・土工・土木計画のそれぞれの領域が重合する部分について考える必要がある。
- ・ハード対策とソフト対策のバランスについて考える必要がある。
- ・確率降水量についての整理が必要である。
- ・これまで斜面委員会が取り組んできた災害事例を取り入れると良い。

- ・成果を見据えて作業をする必要がある。
- ・被災後の防災力向上についても考える必要がある。
- ・ため池の効果について考える必要がある。

審議の結果、実施計画（案）が了承された。実施項目ごとの作業メンバーを選定した。

### 3. オープンキャンパス 2018（土木の魅力グループ）

岩佐委員より、オープンキャンパス 2018 の紹介があった。今年もお手伝い可能な方はお願いしたい。

名称：オープンキャンパス 2018

日時：7月7日（土）10:30～16:00

場所：土木学会

審議の結果、行事に参加するメンバーを選定した。

### 4. 中越地震に関するとりまとめについて

岩佐委員より、中越地震発生から15年が経過することから、その後の復興について整理していくにあたり、報告書のポイント、斜面对策工の実績、復旧復興関連文献の説明がなされた。

審議の結果、引き続き、参画するメンバーを募り、現地調査を通じて、取りまとめを行っていく。

### 5. 出版企画について

なし

### 6. その他

なし

#### ■話題提供

石川芳治先生（東京農工大名誉教授）により、「近年の土砂災害の実態とその対策について」話題提供を頂いた。

#### ■次回委員会

- ・10月4、5日で調整する。
- ・話題提供 井上公夫先生（砂防フロンティア整備推進機構）を予定する。

以上